

News Release

— 農作業事故の未然防止に向けた情報発信について —

農作業事故を疑似体験する国内初の『農作業事故体験VR』を開発！

JAなどが主催する研修会やイベントでの体験会を実施し、農業者にリスクの“自分ごと化”を促す

JA共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長：柳井 二三夫）では、農作業事故の未然防止を目的に、当事者の視点から農作業中の事故を疑似体験できる『農作業事故体験VR』を、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）の監修のもと開発し、本年4月から各地のJAなどが主催する研修会やイベントでの体験会で活用していきます。なお、『農作業事故』に特化したVR映像は、国内で初となります※¹。

農林水産省の報告書によると、毎年、約300人の方が農作業中の事故により命を落としています※²。また、本会が実施した共済金支払データを活用した分析では、年間7万件の農作業事故が発生していると推測しています※³。農業者が安心して農業を続けることができるように、少しでも事故を減らしていかなければなりません。

そうした背景を踏まえて、『農作業事故体験VR』は、重大事故につながりやすい農業機械の事故に注目して、「乗用型農機の転倒」、「歩行型農機の制御」、「さまざまな農機との接触」の3つのテーマでコンテンツを開発しました。

（コンテンツの詳細につきましては別添1をご参照ください）

専用のヘッドセット（メガネのレンズに相当する部分がディスプレイになっているゴーグル）を着用することによりVR映像を視聴できます。さらに、タブレットPCとヘッドセットをネットワークに接続することで、複数の受講者が一斉に映像を視聴できるため、大人数の研修会にも対応できます。

また、指定のアプリとVR映像をスマートフォンにダウンロードし、VRグラスを使用することによりVR体験ができるため、各JAの共済担当者等が組合員・農業者を訪問した際にも活用していきます。

なお、今回開発したコンテンツは、農作業安全に取り組む関係者に広く活用していただくために動画サイトへの公開も行います。

（活用方法のイメージにつきましては別添2をご参照ください）

JA共済連では、「農作業事故の未然防止」と「保障提供」を車の両輪と位置付けて、今後も農業者のリスク軽減・回避につながる活動に取り組んで参ります。

※1 本会調べ。

※2 「農作業死亡事故調査」：農林水産省 https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/sibo.html

※3 20180809 農作業事故の未然防止に向けた情報発信について：JA共済連 <https://www.ja-kyosai.or.jp/news/2018/20180809.html>

別添1 『農作業事故体験VR』の収録内容

重大事故につながりやすい農業機械の事故に注目して、「乗用型農機の転倒」、「歩行型農機の制御」、「さまざまな農機との接触」の3つのテーマでコンテンツを開発しました。

また、「VR映像」に加えて、事故の発生原因や安全対策にかかる「学習動画」を合わせて製作しています。

《VR映像》 360度を見渡せる映像（全5編、各3～5分）



乗用トラクター 転倒編



耕うん機 後進作業編



コンバイン 巻き込まれ編

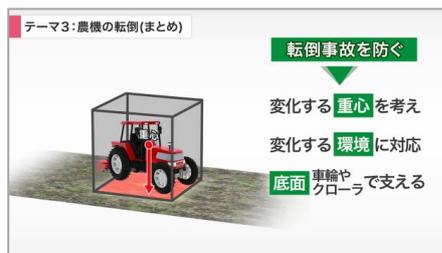


スピードスプレーヤー 挟まれ編



刈払機 刃との接触編

《学習動画》 通常の映像（全3編、各3～6分）



別添2 『農作業事故体験VR』の活用方法のイメージ

《活用方法1》JAなどが主催する研修会やイベントでの体験会の実施



ヘッドセット



使用イメージ（研修会）



使用イメージ（イベント）

《活用方法2》JA共済担当者等が組合員・農業者を訪問した際の体験の提供



VRグラス



使用イメージ

※スマートフォンにVRグラスを着用し使用します。

《活用方法3》YouTubeへの公開



「農作業事故体験VR」QRコード（YouTube）

- ※ YouTubeで360度動画を視聴いただくには、所定の閲覧条件を満たしている必要があります。
- ※ 市販のVRゴーグルなどをお持ちの場合、使用するとより臨場感のある映像が楽しめます。
- ※ VR体験に加えて、事故の発生原因や安全対策にかかる学習動画も公開しています。